

事前評価個表

| | |
|------|---|
| 整理番号 | 9 |
|------|---|

| | | | |
|---------|-----------------|--------|--------------------------|
| 地域（地区）名 | ^か 加賀 | 事業名 | 森林環境保全整備事業 |
| 計画策定主体 | 石川県 | 対象市町村 | ^{かなざわ} 金沢市ほか6市町 |
| 事業実施期間 | R4年度～R8年度（5年間） | 事業実施主体 | 県、市町、森林組合、森林所有者等 |

| | |
|----------|--|
| 事業の概要・目的 | <p>本地区は、石川県南部に位置し、区域面積は 201 千 ha で金沢市をはじめ6市1町が含まれる。森林の状況は、白山を最高峰として広がる比較的急峻な山地に広く分布し、その森林面積は 142 千 ha で、うち民有林が 108 千 ha (76%)、国有林 34 千 ha (24%) である。民有林における人工林は 27 千 ha で人工林率は 25%と県平均 40%に比べ非常に低くなっている。</p> <p>主な人工林樹種はスギであり、人工林面積の 86%を占める。人工林の齢級構成は、XI 齢級をピークとした偏った構成になっており、人工林の成熟化が進んでいる。しかし、採算性の悪化や境界が不明確などの理由により、適切な森林整備が行われなくなってきており、手入れ不足の増加等により森林の多面的機能が失われることが危惧されている。</p> <p>本地区の森林を有する各市町村においては市町村森林整備計画を策定し、森林の有する公益的機能を総合的かつ高度に発揮するため、適正な森林施業の実施に努めている。</p> <p>また、効率的な木材生産が可能な森林においては、集約化による整備を進め、森林資源の循環的利用を目指し、経営条件が不利な森林については、針広混交林や広葉樹林への誘導を図るように努めている。</p> <p>本事業では水源涵養機能等の森林の公益的機能の発揮や間伐材の搬出量の増加を目的として、適切な森林整備を実施する。</p> |
| 事業内容・事業費 | <p>森林整備：2,766ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、雪起し、枝打ち、除伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：2,100m</p> <p style="padding-left: 40px;">林道開設</p> <p>総事業費：2,835,158 千円（税抜き 2,577,416 千円）</p> |
| 費用便益分析結果 | <p>$B/C = 3.46$</p> <p>（総便益（B）=11,891,398 千円、総費用（C）=3,438,275 千円）</p> |
| 評価結果 | <p>必要性：森林の公益的機能の発揮及び県産材の安定供給を図るため、必要性がある。</p> <p>効率性：費用対効果分析結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐が遅れた林分の解消や資源として利用可能な経済林の適正な整備は公益的機能の発揮と県産材の安定供給が図られ、山村経済の振興にも有効である。</p> |

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：石川県

地域(地区)名：加賀

(単位：千円)

| 大 区 分 | 中 区 分 | 評価額 | 備 考 |
|-------------|--|------------|-----|
| 水源涵養便益 | 洪水防止便益 | 1,830,463 | |
| | 流域貯水便益 | 969,243 | |
| | 水質浄化便益 | 3,544,561 | |
| 山地保全便益 | 土砂流出防止便益 | 1,657,829 | |
| 環境保全便益 | 炭素固定便益 | 1,643,362 | |
| 木材生産等便益 | 木材生産確保・増進便益 | 1,869,863 | |
| 森林整備経費縮減等便益 | 森林整備促進便益 | 198,384 | |
| 災害等軽減便益 | 災害時迂回路等確保便益 | 157,741 | |
| | 災害復旧経費縮減便益 | 9,439 | |
| 維持管理費縮減便益 | | 10,513 | |
| 総 便 益 (B) | | 11,891,398 | |
| 総 費 用 (C) | | 3,438,275 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{11,891,398}{3,438,275} = 3.46$ | | |

